



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ケンコーコム株式会社
コード番号 3325 URL <http://www.kenko.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 後藤 玄利
問合せ先責任者 (役職名) グループ統轄本部長 (氏名) 橋元 克巳

TEL 092-737-0824

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,972	25.4	△61	—	△76	—	△92	—
23年3月期第1四半期	3,169	△0.7	△48	—	△51	—	△66	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △94百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2,319.04	—
23年3月期第1四半期	△2,031.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,863	1,802	36.7
23年3月期	4,294	1,502	34.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,784百万円 23年3月期 1,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では合理的な算定が困難であるため未定であります。業績予想は確定次第、すみやかに公表いたします。なお、詳細につきましては3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	40,735 株	23年3月期	33,255 株
24年3月期1Q	459 株	23年3月期	459 株
24年3月期1Q	40,029 株	23年3月期1Q	32,769 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災による企業の生産活動の低下やサプライチェーンの寸断、原子力発電所事故による電力供給の制約等により、深刻な影響を受けました。その後、生産活動やサプライチェーンの回復が進み、復興需要等による景気を持ち直しも期待されておりますが、電力供給の制約、外国為替市場・株式市場の変動等の懸念材料は解消されておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループでは昨年から引き続き、健康関連Eコマース業界でのポジションを確固たるものとするため、売上高の成長を再加速させることを最優先に取り組んでまいりました。また、東日本大震災以降、ミネラルウォーターや非常食等ライフラインを支える分野での商品需要が一時的に急増したため、ライフライン企業としての努めを果たすべく商品の安定供給等に取り組ましました。一方、需要拡大期は新規顧客を獲得する機会でもあり、前期末引き下げた送料無料ラインの継続や、売れ筋であるミネラルウォーターの積極販売、キャンペーンの多用といった施策を打ち出し、結果として、受注件数及び顧客数は急増し、売上高を伸ばすことができました。

しかしながら、利益面におきましては、これらの施策によって受注単価が下落したことから、利益率の低下を招きました。また、5月の本社機能の一部移転に伴い一時的に費用が増加したこともあり赤字となりました。今後、当社といたしましては、中長期的な売上成長の実現による利益の確保と固定費の削減に取り組んでまいります。

これらにより、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,972百万円(前年同期比25.4%増)、営業損失61百万円(前年同期は営業損失48百万円)、経常損失76百万円(前年同期は経常損失51百万円)、四半期純損失92百万円(前年同期は四半期純損失66百万円)となりました。

セグメントの業績は以下の通りです。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載するセグメントを変更しており、前第1四半期連結累計期間との比較・分析は、変更後の数値によっております。

「リテール事業」

リテール事業では、主にインターネット上の健康ECサイトを通じて、健康関連商品を一般消費者向けに販売しております。

平成23年6月末現在の取扱商品数は13万6,709点(Kenko.com Singapore Pte. Ltd. 取扱商品を除く)で、東日本大震災後のライフライン関連商品の調達に集中したため、前連結会計年度末から横ばいで推移しました。しかしながら、前期末引き下げた送料無料ラインの継続や、ミネラルウォーターの積極販売、キャンペーンの多用といった施策を進めた結果、受注件数が急増し、当第1四半期連結累計期間におけるリテール事業の売上高は3,558百万円(前年同期比25.5%増)となりました。

「ドロップシップ事業」

ドロップシップ事業では、小売事業者向けに健康ECプラットフォーム機能を提供しております。

当第1四半期連結累計期間は、一時的に大口取引先への出荷が落ち込んだため、ドロップシップ事業の売上高は290百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

「ドラッグ・ラグ是正支援事業」

ドラッグ・ラグ是正支援事業では、日本の新薬承認の遅延(ドラッグ・ラグ)の是正のため、医師の要望により医薬品の輸入支援を行っております。

着実に取扱品目及び売上高を成長させたため、当第1四半期連結累計期間の売上高は105百万円(前年同期は売上高計上なし)となりました。

「その他の事業」

その他の事業では、メーカー・卸向けに商品の広告掲載やブランディング・プロモーション支援等を行うメディア事業等を行っております。

メディア事業の売上高が東日本大震災後の広告自粛の影響を受けたため、当第1四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は18百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて568百万円増加し、4,863百万円となりました。これは主に、商品及び売掛金等の流動資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて267百万円増加し、3,060百万円となりました。これは主に買掛金及び未払金

の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて300百万円増加し、1,802百万円となりました。これは純損失の計上に伴う利益剰余金の減少はあったものの、第三者割当増資によって資本金及び資本剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、東日本大震災や原子力発電所事故の影響による電力供給不安と出荷状況への影響、商品調達の動向及び消費者心理の不透明感等により、現段階では合理的な算定が困難であることから未定とさせていただきます。

業績見通しについては、コスト削減効果及び需給動向の見通しが立った後、9月中に公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	719,454	622,605
売掛金	842,677	1,053,664
商品	1,143,222	1,563,974
貯蔵品	13,293	15,014
その他	122,480	131,310
貸倒引当金	△23,623	△29,297
流動資産合計	2,817,506	3,357,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	977,137	992,406
減価償却累計額	△256,979	△255,176
減損損失累計額	△19,320	△10,054
建物及び構築物（純額）	700,837	727,175
機械装置及び運搬具	22,305	22,305
減価償却累計額	△15,079	△15,473
機械装置及び運搬具（純額）	7,226	6,831
工具、器具及び備品	546,996	527,042
減価償却累計額	△410,870	△401,797
減損損失累計額	△33,118	△26,542
工具、器具及び備品（純額）	103,007	98,703
リース資産	138,873	166,848
減価償却累計額	△36,615	△40,643
減損損失累計額	△50,060	△50,060
リース資産（純額）	52,197	76,144
建設仮勘定	499	499
有形固定資産合計	863,769	909,355
無形固定資産		
ソフトウェア	427,641	396,803
ソフトウェア仮勘定	26,488	26,719
リース資産	20,560	19,279
その他	2,606	2,610
無形固定資産合計	477,297	445,413
投資その他の資産		
投資有価証券	9,200	9,240
差入保証金	123,212	139,202
その他	3,748	2,915
投資その他の資産合計	136,160	151,358
固定資産合計	1,477,227	1,506,126
資産合計	4,294,734	4,863,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,081,848	1,255,443
短期借入金	100,000	75,000
1年内返済予定の長期借入金	385,828	387,028
リース債務	32,442	38,198
未払金	339,051	520,383
未払法人税等	6,454	18,543
賞与引当金	501	—
ポイント引当金	10,296	11,691
本社移転費用引当金	37,511	19,950
倉庫移転費用引当金	13,293	—
システム移行費用引当金	9,318	4,820
その他	94,915	93,990
流動負債合計	2,111,462	2,425,050
固定負債		
長期借入金	581,802	485,645
リース債務	95,487	110,106
その他	3,891	39,654
固定負債合計	681,181	635,406
負債合計	2,792,643	3,060,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,064,817	1,261,541
資本剰余金	1,301,187	1,497,911
利益剰余金	△791,915	△884,745
自己株式	△83,968	△83,968
株主資本合計	1,490,121	1,790,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,052	△1,012
為替換算調整勘定	△4,106	△5,435
その他の包括利益累計額合計	△5,158	△6,448
新株予約権	17,128	18,649
純資産合計	1,502,090	1,802,940
負債純資産合計	4,294,734	4,863,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	3,169,132	3,972,927
売上原価	2,140,067	2,643,668
売上総利益	1,029,064	1,329,259
販売費及び一般管理費	1,077,656	1,390,698
営業損失(△)	△48,592	△61,439
営業外収益		
受取利息	0	12
受取配当金	60	60
破損商品等弁償金	1,332	2,296
その他	550	1,500
営業外収益合計	1,943	3,870
営業外費用		
支払利息	4,238	4,752
為替差損	934	13,883
その他	—	672
営業外費用合計	5,172	19,308
経常損失(△)	△51,821	△76,877
特別利益		
新株予約権戻入益	—	136
保険差益	515	—
特別利益合計	515	136
特別損失		
固定資産除却損	6,686	786
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,450	—
その他	242	492
特別損失合計	11,378	1,279
税金等調整前四半期純損失(△)	△62,684	△78,020
法人税、住民税及び事業税	2,258	10,989
法人税等調整額	1,621	3,819
法人税等合計	3,879	14,809
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△66,564	△92,829
四半期純損失(△)	△66,564	△92,829

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△66,564	△92,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	40
為替換算調整勘定	△5,920	△1,329
その他の包括利益合計	△5,712	△1,289
四半期包括利益	△72,276	△94,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,276	△94,119
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	ドロップ シップ	ドラッ グ・ラグ 是正支援	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,835,332	313,923	—	3,149,256	19,875	3,169,132	—	3,169,132
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,835,332	313,923	—	3,149,256	19,875	3,169,132	—	3,169,132
セグメント利益又は 損失(△)	35,840	5,831	△2,927	38,744	2,656	41,400	△89,993	△48,592

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△89,993千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,993千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	ドロップ シップ	ドラッ グ・ラグ 是正支援	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,558,514	290,585	105,057	3,954,157	18,769	3,972,927	—	3,972,927
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,558,514	290,585	105,057	3,954,157	18,769	3,972,927	—	3,972,927
セグメント利益	27,164	3,598	16,812	47,576	1,797	49,373	△110,812	△61,439

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△110,812千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,812千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「ドラッグ・ラグ是正支援」は、「その他」の区分に含めておりましたが、「ドラッグ・ラグ是正支援」の重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より「ドラッグ・ラグ是正支援」として区分表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間に係る変更後の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に

関する情報は、「I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年4月4日付で、RSエンパワメント株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が196,724千円、資本準備金が196,724千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,261,541千円、資本準備金が1,497,911千円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。